

～ 2024県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち～に出展

青年部・女性部

令和6年2月14日（水）、県内の高校一年生を対象に維新大晃アリーナで開催された「2024県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち」に「建築士」ブースを出展しました。毎年女性部が参加していましたが、今年は中山青年部長から「やってみてみたい！」という希望を受け、午前女性部2名、午後青年部2名の体制で高校生たちをお迎えしました。前女性部長の水谷さんが作成された「建築士になるには」というしおりを来訪してくれた高校生たちに配布し、図面や模型、CGなどを見せながら建築士の説明を行いました。

女性部 神徳香子

初めて高校生対象の進学・仕事魅力発信フェアに参加してきました。周りを見渡せば進学や就職に、まだまだ関心があるのかな？と思われる学生ばかりで自分も高校1年生はこんな感じだったよなと学生時代を思い出しました。午前午後と女性部さんと担当分けをして午後から説明ブースで待機していましたが、なかなか学生は『建築士』という職種に興味を持ってもらえてないようで、その一方で隣の『大工』のブースは、まずまずの来場のように同じ建築系の職業なのに学生から興味関心は、こんなにも違うかと少し残念な気持ちになりました。もっと次世代へ『建築士』の魅力発信が必要かなと実感しました。

そんな落ち込んでいる中、数人ほど興味も持って来場してくれる学生がいてくれて、中には「建築士になるに学生の間は何をしたらよいか？」「建築士に必要な科目は何か？」など意欲的な学生もいました。『何か質問ある？』の問いかけに対して『何を質問していいのかわからない』と迷う高校生もいました。まだまだ今後を考えていくうえで迷う時期かもしれませんが、是非将来建築の仕事について業界を盛り上げて欲しいと思いました。

青年部 中山怜

今まで女性部の方で引き受けていただいていたイベントでしたが今回初めて青年部として参加させていただきました。県内の主に私立普通科高校の1年生に対して『建築士』とはどのような仕事をするかの説明をいたしました。隣のブースが『大工』でしたが、中には『建築士』と『大工』の違いがわからない学生もおり業界の認知度の低さを痛感する場面もありました。かくいう私も高校1年の時は『大工』と『とび』の違いがわからなかったのも、むしろ普通科の高校で『建築士』のことがわかる方がすごいのかもかもしれません。

そんな中、「将来建築士になりたい」と前のめりに話を聞いてくれた学生もいました。

この業界に興味をもって話を聞いてくれる学生と出会うことができ、とても貴重な時間となりました。将来建築士会の仲間として一緒に山口県を盛り上げていければこの上ない幸せです。

青年部 野村幸弘

学生の時に就職セミナーに参加した際、集団でバスに乗り、会場のブースを何ヶ所か回り特にこれといった具体的な収穫もなく終え、帰宅時には「参加した！」と、事実の達成感だけあった苦い記憶を思い出しました。今回参加した子達は、高校1年生。卒業まで少し時間がある学年。建築士の仕事を知ってもらい、少しでも多くの学生さんの進路や、就職の選択肢に入ると嬉しいです。

女性部 南波千恵



編集/山口支部 南波千恵